

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

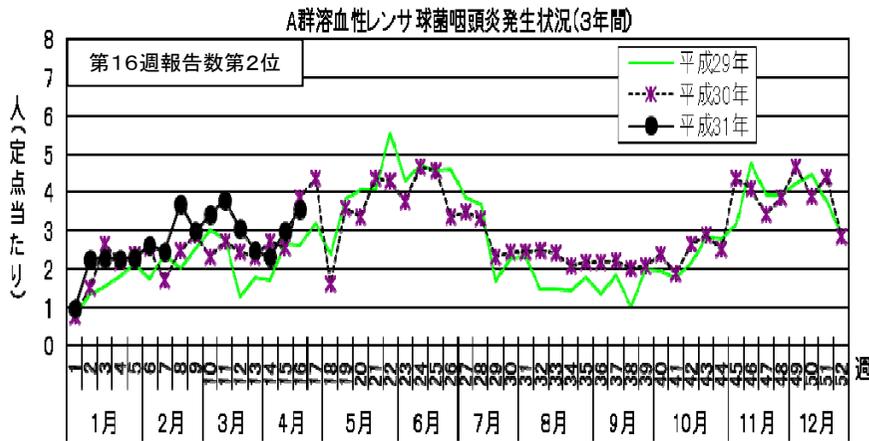
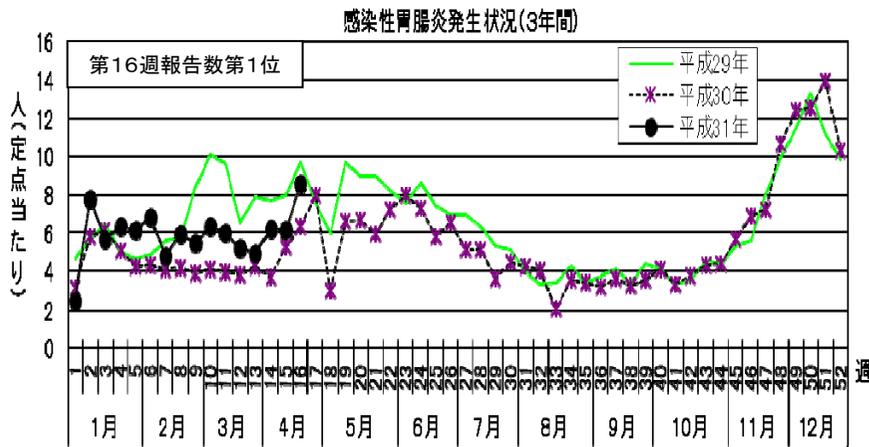
平成31年4月15日（月）～平成31年4月21日（日）〔平成31年第16週〕の感染症発生状況

第16週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)インフルエンザでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.57人と前週（6.14人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.57人と前週（2.97人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は2.36人と前週（1.66人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

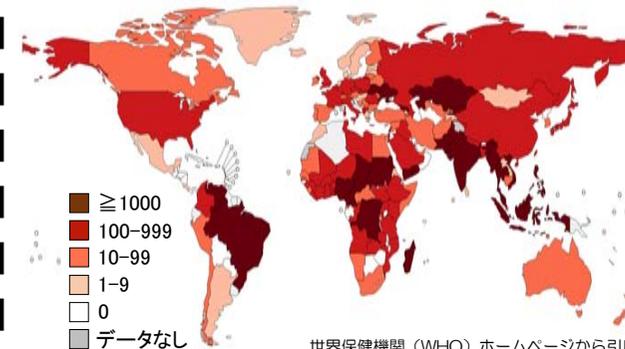


ゴールデンウィーク前に十分な麻しん対策を！！

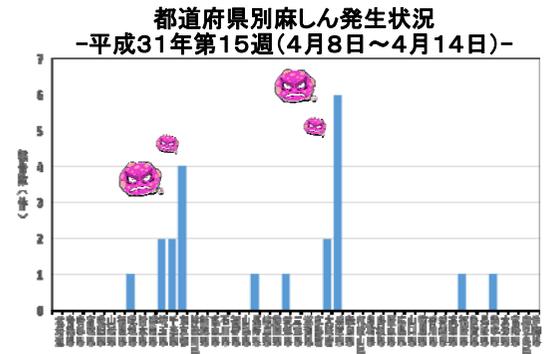
海外では、アジアやアフリカだけでなく、現在はアメリカやヨーロッパを含め世界各地で麻しんが流行しています。国内においても、関東や関西地方を中心に麻しん患者の報告があり、ゴールデンウィークで人の移動が多くなると、思わぬところで感染が広がる可能性があります。

麻しんに対する予防としてはワクチン接種が有効です。一般的に、接種後2週間程度で免疫がつくため、流行地に出かける場合は接種時期が早いほど効果も高くなります。現時点で接種歴及び罹患歴のいずれもない方は、連休前になるべく早くワクチン接種を御検討ください。

世界における麻しんの報告数
-平成30年9月～平成31年2月-



世界保健機関（WHO）ホームページから引用



麻しん風しん混合(MR)ワクチンを接種することで、麻しんだけでなく風しんも予防することができます。

